

野菜の需給・価格動向レポート(平成24年2月6日版)

平成24年2月6日
野菜需給部

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	1月の価格動向			生育及び価格の2月の見通し			
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額					
		上旬	中旬				
葉茎菜	キャベツ	88.05	122	120	113	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 13,176t (97) 主産地: 愛知 (59)、千葉 (20)、神奈川 (17) 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知産は、低温の影響により肥大が進まず小玉傾向、中旬までは少なめの見込み。千葉産は、低温の影響で小玉傾向のところに一部凍害も発生し、中旬までは少なめの出荷の見込み。神奈川産も、小玉傾向で、少なめの出荷の見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は中旬までは平年を上回って推移する見込み。
		83.73	142	124	122	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 3,100t (94) 主産地: 愛知 (56)、大阪 (15)、兵庫 (11)、和歌山 (9) 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、低温と少雨の影響により、肥大不足で細めとなっており、平年より少なめの出荷量の見込み。埼玉産は、低温の影響で細めとなっているものの、今後は平年並みの出荷の見込み。 埼玉産の平年並みの出荷が見込まれることから、価格は平年並に推移する見込み。
	ねぎ (関東: 白ねぎ 関西: 青ねぎ)	229.99	261	204	230	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込数量: 4,521t (103) 主産地: 千葉 (39)、埼玉 (25)、茨城 (15)、群馬 (8)、輸入 (3) 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、低温と少雨の影響により、肥大不足で細めとなっており、平年より少なめの出荷量の見込み。埼玉産は、低温の影響で細めとなっているものの、今後は平年並みの出荷の見込み。 埼玉産の平年並みの出荷が見込まれることから、価格は平年並に推移する見込み。
		450.51	470	363	407	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込数量: 210t (106) 主産地: 徳島 (35)、大阪 (17)、奈良 (13)、高知 (11)、三重 (6) 	<ul style="list-style-type: none"> 茨城産は、捲きが緩く小玉傾向ではあるものの、平年並みの出荷となっている。群馬産は、平年並みの出荷で中旬からは、ピークとなり、増加傾向となる見込み。 順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
	はくさい	61.12	44	48	58	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 12,311t (98) 主産地: 茨城 (71)、群馬 (15)、兵庫 (9) 	<ul style="list-style-type: none"> 茨城産は、捲きが緩く小玉傾向ではあるものの、平年並みの出荷となっている。群馬産は、平年並みの出荷で中旬からは、ピークとなり、増加傾向となる見込み。 順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		68.7	72	63	78	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 4,200t (98) 主産地: 愛知 (36)、兵庫 (17)、宮崎 (13)、茨城 (9)、熊本 (6) 	<ul style="list-style-type: none"> 群馬産は、低温の影響により生育が停滞し、1割程度少なめの出荷となっており、上旬までは少なめの出荷の見込み。今後、気温が上昇すれば、生育は回復する見込み。千葉産は、低温の影響で少なめの出荷となっており、今後も少なめの見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
	ほうれんそう	307.66	685	498	568	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 1,827t (100) 主産地: 群馬 (26)、千葉 (23)、埼玉 (22)、茨城 (20) 	<ul style="list-style-type: none"> 群馬産は、低温の影響により生育が停滞し、1割程度少なめの出荷となっており、上旬までは少なめの出荷の見込み。今後、気温が上昇すれば、生育は回復する見込み。千葉産は、低温の影響で少なめの出荷となっており、今後も少なめの見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		341.25	802	537	582	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 620t (105) 主産地: 徳島 (52)、福岡 (23)、群馬 (9) 	<ul style="list-style-type: none"> 群馬産は、低温の影響により生育が停滞し、1割程度少なめの出荷となっており、上旬までは少なめの出荷の見込み。今後、気温が上昇すれば、生育は回復する見込み。千葉産は、低温の影響で少なめの出荷となっており、今後も少なめの見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
	レタス	233.85	350	278	284	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 6,378t (100) 主産地: 静岡 (35)、兵庫 (9)、香川 (9)、千葉 (8)、熊本 (6)、福岡 (3) 	<ul style="list-style-type: none"> 静岡産は、1月中旬の降雨により、玉の肥大も進みし中心の出荷となっており、今後は平年よりは少ないものの、少なかった前年よりは多めの出荷となる見込み。兵庫産は、平年より少なめの出荷の見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年を上回って推移する見込み。
		226.75	358	261	290	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 1,050t (104) 主産地: 兵庫 (58)、徳島 (19)、香川 (9) 	<ul style="list-style-type: none"> 入荷の大宗を占める北海道産は、前年よりは多いが、平年には届かない出荷の見込み。 平年より少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
	たまねぎ	76.15	88	87	90	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 8,690t (103) 主産地: 北海道 (72)、輸入 (12) 	<ul style="list-style-type: none"> 出荷の大宗を占める北海道産は、前年よりは多いが、平年には届かない出荷の見込み。 平年より少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		76.15	93	93	94	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 2,900t (103) 主産地: 北海道 (57)、兵庫 (26) 	<ul style="list-style-type: none"> 入荷の大宗を占める北海道産は、前年よりは多いが、平年には届かない出荷の見込み。 平年より少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
果菜	きゅうり	370.98	359	404	534	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 4,790t (97) 主産地: 千葉 (24)、宮崎 (23)、高知 (16)、群馬 (14)、茨城 (13)、埼玉 (6) 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、11月の高温の影響により根の張りが弱いことに加え、その後の低温と日照不足の影響で、平年より少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。宮崎産は、天候の回復により出荷は回復傾向にあるが、平年よりは少なめの見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		350.33	331	379	528	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 1,050t (93) 主産地: 宮崎 (41)、高知 (28)、徳島 (22)、愛媛 (8) 	<ul style="list-style-type: none"> 少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
	トマト	332.6	461	443	472	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 4,921t (96) 主産地: 熊本 (33)、愛知 (15)、栃木 (15)、福岡 (5)、宮崎 (5)、千葉 (5)、群馬 (4)、静岡 (4) 	<ul style="list-style-type: none"> 熊本産は、低温ではあるが天候の回復により日照時間が増え、出荷量が平年並みに回復している。今後は作型の切り替え時期となり、徐々に減少する見込み。愛知産は、順調で平年並みの出荷の見込み。 熊本産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		311.06	424	413	440	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 860t (95) 主産地: 熊本 (57)、福岡 (14)、愛知 (12) 	<ul style="list-style-type: none"> 高知産は、曇天と低温の影響により生育が停滞し、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷が続く見込み。福岡産も、曇天と低温の影響により、少なめの出荷となっているが、中旬からは増加する見込み。 高知産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
	なす	389.03	451	425	467	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 1,992t (98) 主産地: 高知 (61)、福岡 (19)、佐賀 (7) 	<ul style="list-style-type: none"> 高知産は、曇天と低温の影響により生育が停滞し、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷が続く見込み。福岡産も、曇天と低温の影響により、少なめの出荷となっているが、中旬からは増加する見込み。 高知産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		397.74	439	421	466	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 330t (99) 主産地: 高知 (35)、熊本 (25)、福岡 (18)、岡山 (12) 	<ul style="list-style-type: none"> 高知産は、曇天と低温の影響により生育が停滞し、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷が続く見込み。福岡産も、曇天と低温の影響により、少なめの出荷となっているが、中旬からは増加する見込み。 高知産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
	ピーマン	551.24	539	592	740	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 1,231t (98) 主産地: 宮崎 (34)、茨城 (28)、高知 (22)、鹿児島 (15) 	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎産及び高知産は、少なめの出荷となっていたが、花つきのよい時期のものの出荷となり、上旬は増加する見込み。茨城産は、少なめの出荷の見込み。 茨城産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		513.91	492	559	709	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 250t (98) 主産地: 宮崎 (58)、高知 (27)、鹿児島 (9) 	<ul style="list-style-type: none"> 少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年を上回って推移する見込み。
根菜	だいこん	79.03	83	82	88	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 11,343t (98) 主産地: 神奈川 (64)、千葉 (32) 	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川産は、低温の影響により肥大が進まず、やや小ぶりで少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。千葉産も、低温の影響により生育が停滞し、少なめの出荷となっており、中旬までは少なめの出荷の見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年を上回って推移する見込み。
		80.47	88	69	77	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 3,200t (113) 主産地: 鹿児島 (28)、徳島 (26)、長崎 (24)、香川 (6) 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、生育が良好で平年並みの出荷となる見込み。埼玉産も、順調で、少なめの出荷となる見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
	にんじん	100.82	102	99	98	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 6,728t (105) 主産地: 千葉 (70)、埼玉 (9)、茨城 (6)、輸入 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、生育が良好で平年並みの出荷となる見込み。埼玉産も、順調で、少なめの出荷となる見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
	にんじん	104.49	132	124	113	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量: 2,100t (94) 主産地: 鹿児島 (44)、長崎 (30)、鳥取 (13)、愛知 (11) 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、生育が良好で平年並みの出荷となる見込み。埼玉産も、順調で、少なめの出荷となる見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。

種類	1月の価格動向			生育及び価格の2月の見通し			
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額					
		上旬	中旬				
いも	さといも	217.95	195	195	183	・入荷見込量：773t (105) ・主産地：千葉(41)、埼玉(26)、輸入(7)	・埼玉産及び千葉産は、掘り取り作業が遅れているところも見られるが、順調な出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年は平年並みに推移する見込み。
		219.65	290	238	249	・入荷見込量：169t (-) ・主産地：宮崎(33)、愛媛(30)、千葉(15)、熊本(6)	
	ばれいしょ	88.17	108	106	109	・入荷見込量：8,091t (103) ・主産地：北海道(61)、鹿児島(22)、長崎(16)	・出荷の大宗を占める北海道産は、少なかった前年よりは多いが、平年よりはやや少なめの出荷の見込み。鹿児島及び長崎産は、曇天の影響で玉太りが悪く小玉傾向で少なめの出荷量となり、平年を下回る見込み。
		88.17	98	102	96	・入荷見込量：3,600t (99) ・主産地：北海道(55)、長崎(25)、鹿児島(14)	・やや少なめの出荷量が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。

1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)。
2) 別別平均販売価額の赤字は平均価格を5%以上回るもの、背景色は保証基準額を下回るもの(消費税は除く。)。
3) 単位は円/㎏、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもの近畿は前年実績。
5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

家計調査によるところ、12月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,998gで前年比97%、購入金額は、1,792円で同95%となり、購入量、購入金額ともに前年を下回った。	生鮮野菜の購入量及び金額						主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移					
	(1人当たりの購入量、金額)						(単位:円/㎏)					
年	過去5か年平均		平成22年		平成23年		過去5か年平均	平成23年1月	5か年比(%)	過去5か年平均	平成23年1月	5か年比(%)
月	購入量(㎏)	金額(円)	購入量(㎏)	金額(円)	購入量(㎏)	前年比	金額(円)	前年比		金額(円)	前年比	
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	102	1,573	101		618	502	81
2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	96	1,629	103		496	635	128
3月	4,767	1,695	4,970	1,768	4,867	98	1,788	101		455	435	96
4月	4,732	1,808	4,518	1,884	4,796	106	1,789	95		464	348	75
5月	5,094	1,902	4,925	1,965	5,171	105	1,820	93		399	277	69
6月	5,033	1,880	5,026	1,907	4,904	98	1,857	97		360	306	85
7月	4,438	1,683	4,264	1,697	4,362	102	1,759	104		320	306	96
8月	4,272	1,732	4,241	1,733	4,392	104	1,717	99		493	351	71
9月	4,868	1,806	4,606	1,818	4,598	100	1,803	99		483	300	165
10月	5,314	1,849	4,994	1,959	5,037	101	1,884	96		474	540	114
11月	4,997	1,614	4,678	1,774	5,091	109	1,613	91		359	335	93
12月	5,212	1,817	5,177	1,887	4,998	97	1,792	95		442	440	100

資料: 総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く。)

主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移
(単位:円/㎏)

	キャベツ	レタス			
過去5か年平均	平成23年1月	5か年比(%)			
平成23年1月	平成24年1月	5か年比(%)			
H23. 1月	189	98	618	502	81
2月	173	228	496	635	128
3月	181	206	455	435	96
4月	250	195	464	348	75
5月	185	127	399	277	69
6月	159	106	360	306	85
7月	154	174	320	306	96
8月	170	123	493	351	71
9月	159	148	483	300	165
10月	158	187	474	540	114
11月	155	139	359	335	93
12月	146	137	442	440	100
H24. 1月	166	243	547	732	134

1) 過去5か年は平成18~22年の平均、ただし、24年1月は平成19年~23年の平均。
2) H24. 1月の値は、1月中旬の速報値
資料: 総務省「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

平成23年の輸入を貿易統計でみると、生鮮野菜は前年比112%の92万トン、加工野菜は同107%の180万トン、野菜全体では同10%の272万トンとなった。うち、中国からの輸入は同110%の141万となり、前年をかなり上回った。	野菜の輸入数量の推移						主な野菜の輸入動向						
	(単位:トン、%)						(単位:トン、%)						
	区分	平成22年		平成23年1~12月		平成23年12月		品目	輸入先	(A) 2010.12		(B) 2011.12	
		前年比		前年同期比		前年同月比				(B)/(A)			
	生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	79,886	80	たまねぎ	合計	44,941	30,548	68	
	加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	168,796	113	中国		26,950	25,728	95	
	野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	248,683	100	米国		17,991	4,800	27	
	うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	135,655	101	にんじん	合計	5,971	4,402	74	
	中国産シェア	51		52		55		中国		5,642	4,229	75	
	ねぎ							オーストラリア		250	138	55	
	ねぎ							合計		5,380	4,225	79	
	ねぎ							中国		5,378	4,223	79	

資料: ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」。 (2011.12) は、速報値である。

4 トピック 一 平成22年は、すべての年齢階級別で野菜摂取量が減少

